

# 議会質問

## 第3回定例会・一般質問

(平成27年10月2日)

### ◆八木山動物公園の来園者に配慮した環境整備について

質問：障がい者や高齢者が楽しめるようサービス向上のため、電動アシスト車いすの貸し出しが必要である。伺う。

答弁：電動アシスト付き車いすの導入については、当園を訪れる障害のある方や高齢の方にも、安心して園内を楽しんでいただけよう、今後検討してまいりたい。



### ◆がん検診の受診環境の整備について

質問：日本人の罹患の第1位である胃がん。胃がん検診において、バリウム検査と胃カメラ検査を選べる、選択方式がある。現在、政令都市では8都市が導入している。さらなる受診率向上や利便性向上のため、そして何より胃がんの早期発見、早期治療につながるため、選択方式を導入すべき。

答弁：エックス線検査(バリウム検査)と内視鏡検査(胃カメラ検査)の選択方式の導入については、内視鏡検査の課題に加え、2つの検査方法は、推奨される受診間隔や対象年齢などが異なることから、医師会等関係団体との調整が必要である。今後、国において、検討会の検討を経て、「がん検診の実施のための指針」改訂に向けて、検討が開始されることから、その動向を踏まえ検討してまいりたい。

### ◆電子申請の推進について

質問：電子申請とは、区役所等への行政手続きをパソコンや携帯電話からインターネットを通じて利用できるサービスである。自宅などから、受付時間を気にせず、24時間365日いつでも手続きを行うことができる。各がん検診や35歳～39歳の方が対象の基礎健診を含め、手続き項目をさらに拡大すべき。

答弁：電子申請による基礎健診・がん検診申込みの導入に向けて検討してまいりたい。対象手続きの積極的な拡大に努めたい。

### ◆来年5月に太白区秋保地区で開催されるG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議について

質問：秋保地区の歩道整備について、県道仙台山寺線の磊々峠バス停付近では計画は上がっているが、入札不調により、着工に至っていない。名取川に面して磊々峠の自然歩道の入り口になっており、歩行者にとって通行が危険であり、観光地として早急な整備が必要。また、磊々峠入口バス停から県道秋保温泉愛子線の信号までの歩道が途切れしており整備されていない。サミットに向けて整備すべき。



答弁：磊々峠バス停付近など2か所の歩道整備については、来年3月の工事完了にむけて進めており、これによって秋保温泉地区の歩道ネットワークがほぼ完成することになる。また、磊々峠沿いでは、新たな公園整備も行っており、会議開催に向けて会場周辺の環境整備を進めてまいりたいと考えている。

### ◆その他の質問項目

- ・市民への災害情報である「杜の都防災メール」の広報について
- ・乳がん検診の視触診検査とマンモグラフィー検査の同一医療機関での実施
- ・観光地として秋保温泉地域の情報発信の取り組み。
- ・秋保温泉の里の伝統工芸発信と敷地内の補修や駐車場の整備。



SPコードは視覚障害者のための「文章読み上げ装置」用のコードです。  
装置は、仙台市内各区役所に設置しております。

## 決算等審査特別委員会

(健康福祉費 平成27年10月13日) (土木費 平成27年10月15日)

質問：太白区役所の駐車場において、「車いす用駐車スペース」が東側にしかなく出入口の幅が広い正面南側スロープ付近にも設置してほしいとのお声をいただいた。障がい者がさらに利用しやすいよう設置を求める。

答弁：ご利用される市民の皆様の利便性を考慮して、設置に向けて具体的に検討してまいりたい。



質問：太白区生活保護課の受付カウンターの向かいの面談スペースは2面のパーテーションのみで仕切っているため、プライバシー保護の観点から、配慮が必要である。早急に改善すべき。

答弁：プライバシー保護に課題があるので、相談者が特定できないよう対策を講じてまいりたい。

### ◆主な質問項目

- ・各区役所の「車いす用駐車スペース」「思いやり駐車区域」の利用者に配慮した設置と周知
- ・生活保護業務の人員体制の拡充。
- ・市営住宅の整備及び管理の基本方針について  
車いす住宅の整備拡充・非常ベル(多機能インターホン)の整備  
子育て世帯の募集対象を小学生の児童がいる世帯に拡大  
入居者の声や女性の視点を反映した設計について

### ◇◇ 皆さまの声を力タチにしました!(実績抜粋) ◇◇

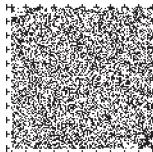
#### 仙台市と段ボール組合が防災協定を締結しました!!



■仙台市と東日本段ボール工業組合が、「災害時における段ボール製品の調達に関する協定」を結び、8月4日、締結式が行われ、参加いたしました。これは、平成27年第1回定例会・一般質問において、段ボールベッドは、長期の避難所生活で被災者の健康を守り、精神的負担の軽減に有効なものである。備蓄不要である災害時搬入の防災協定を紙製造業者と締結すべきと求めておりました。「協定締結に向けて協議してまいりたい」との答弁があり、早急な協定に至り、防災体制を推進することができました。

#### 太白区羽黒台の法面崩落現場視察 (9月12日・太白区)

■9月9日～11日にかけての「関東・東北豪雨」により、甚大な被害となりました。現在、現場付近の旧286号線は通行止めのため、人来田方面から国道286号線に抜ける迂回路で対応しております。しかし住民から、迂回路によって車の通行量が増え、人来田小学校の通学路でもあることから、ご心配のお声が寄せられました。早速、太白区道路課に申入れし、通行止めの周知や注意喚起の看板の増設、交通情報での周知などの安全対策となりました。12月末までの片側交互通行での暫定的な供用開始を目指して11月19日から道路復旧工事が行われております。



SPコードは視覚障害者のための「文章読み上げ装置」用のコードです。  
装置は、仙台市内各区役所に設置しております。